

平成 28 年 1 月 29 日発行

キャリア・アップ NEWS 1 月号

〈経営者・管理者が読むニュースレター〉 本年もよろしくお願い致します!!

社会人としての「常識」と「基礎力」を高める!

新人・若手社員研修

今どきの若者傾向より

1. 最近の若者は、あまり言葉や態度で表さないで、何を考えているのかわかりづらい。
2. 何でも親や周りがやってくれるので、「やってもらうことが当たり前」となっている傾向にある。
3. だから、「何でも依存的」「すぐに人に聞いて答えを求めて、自分で考えて行動できない」人が多い。
- 4 「ふつう○○でしょ。」と言いたくなるような事でも、本人は全く分かってない。

徹底指導
先着 15 名

上司にしてみれば、「やるせない」「歯がゆい」「イライラ」した気持ちになります。

本研修の 3 つのコンセプト

1. 「人としての常識」 2. 「気配り（社内・お客様）」 3. 「コミュニケーション力」

■担当講師: 有限会社キャリア・アップ 代表取締役 須山由佳子

■日時:平成 28 年 ●3 月コース 3 月 30 日(水)、31日(木) ●4 月コース 4 月 14(木)15 日(金)

■会場:3 月(浜松アリーナ)4 月(浜松アリーナ)■定員:先着 15 名 ■申し込み締切:3 月 25 日(金)まで

■受講料(昼食代、税込): 1 人 37,800 円(2 日間コースのみ)、59,400 円(6 ヶ月後フォローアップ付)

今後の教育に役立つ

性格診断検査の実施
+ご報告(参加の様子)

研修プログラム

1 日目 9:30~17:30

1. 学生と社会人の違い
2. 自己紹介でアピール
3. 組織における考え方と行動とは?
4. ビジネスマナー
挨拶訓練
(名刺の使い方・言葉づかい・電話応対)
5. 振り返り+3 分間スピーチ
6. 世の中の常識を知ろう!!

*今後の個別指導に役立つ**性格診断**を実施

2 日目 9:30~17:30

1. 「自己の強み」を知り仕事に活かす!!
2. 指示の受け方・仕事の進め方 (PDCA)
(優先順位と中間報告の大切さ)
3. 報告・連絡・相談で仕事の質を高める
4. チームワークとは? 体験実習
5. 「気配り」は人を思いやることから
6. これからの目標設定づくり

★3 分間スピーチ (全員発表)

★ どちらかを選択ください (3 月コース・4 月コース) 2 日間コースのみ・フォローアップ含めた研修

会社名	ご住所
TEL	Fax or メール
ご担当者名	参加受講人数 人

※お申し込み後、詳細のやりとりをさせていただきます。

配信停止 (FAX:)

メール配信切り換え (メールアドレス)

ご記入の上、弊社 FAX 053-411-6859 まで送信をお願い致します。

成長するとは、「考え方」の次元が一段上がること!

私たちの周りには、能力はあるのに成果が上がってこない人、熱意はあるのに報われていない人はいないでしょうか。もっと端的に言えば、「何で、このようなモノの見方、考え方をしてしまうのか」と残念に感じる人々がないでしょうか。

例えば・・・

- ・ どうして、いつも斜に構えて、批判ばかりするのか?
- ・ どうして、そんなに自己中心的なのか?
- ・ どうして、そんなに被害者意識が強いのか?
- ・ どうして、自分の話ばかりして、人の話を聞かないのか?
- ・ 評論すると一人前なのに、どうして自ら責任を取ろうとしないのか?
- ・ どうして、いつも周囲に依存してしまうのか?
- ・ どうして、いつも自分の評価がはりを気にしているのか?
- ・ どうして、自分を低く評価して、簡単に諦めてしまうのか?



このように、「考え方」「思考パターン」「行動パターン」が歪んでいる人は、たとえ力(能力)があっても、経験が豊富でも、組織の中で成果を上げることができない場合が多いものです。

★「成長する」とは、「考え方」の次元が一段がること

私たちは自らの経験に基づいて、十人十色の「捉え方」「価値観」をもっています。それが、事業、仕事、マネジメントの各場面で大きな影響を及ぼします。特に、経営者やリーダーの「捉え方」「価値観」は、社風や組織の基準を決定づけます。経営者が人を使い捨てる道具と捉えれば、組織の誰もが部下育成の重要性を認識しないでしょう。経営者が人の可能性を信じる「考え方」を持っていれば、人を大事にする社風が形成されるでしょう。



例えば・・・

- ・ 顧客からのクレームは・・・「顧客からの無理な要求だろうか」それとも、「顧客からの貴重なアドバイスだろうか」
- ・ 他部署のメンバーに協力することは・・・「自分の時間を取られる非生産的な行為だろうか」それとも「良いチームを形成する上で欠かせない行為だろうか」
- ・ 上司との信頼関係を築くことは・・・「上司の努力次第なのだろうか」それとも「部下である自分の重要な役割や責任なのだろうか」
- ・ 会社の業績が厳しい時は・・・「転職を検討すべき時だろうか」それとも「自分の出番だろうか」
- ・ 成果を上げていない部下は・・・「チームのお荷物だろうか」それとも「育成次第で光るダイヤモンドの原石だろうか」
- ・ 会議での意見の対立は・・・「強引にねじ伏せるべきだろうか」それとも「お互いの見解」の違いを理解し合えるチャンスだろうか

このように、「考え方」は、それぞれです。そして、どういう「考え方」を選択するかは、あなた次第なのです。こうした「考え方」が変化して、「モノの見方」「考え方」が進化した時こそ、われわれは大きな成長のチャンスを手にすることができるのです。
(参考: 「7つの習慣」より)

配信停止 (FAX : _____)

メール配信切り換え (メールアドレス _____)

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。